

第28回東京都武術太極拳選手権大会 開催要綱

開催趣旨：

東京都在住の都民を対象にして、公益社団法人日本武術太極拳連盟が主催する「第38回全日本武術太極拳選手権大会」の太極拳個人種目、集団、対練、太極拳推手規定套路の東京都代表選手、代表チーム選抜、を第28回東京都選手権大会の競技種目として実施する。

1. 日 時： 2021年3月21日(日) 午前9：30～午後7：00
2. 会 場： 「駒沢オリンピック公園」屋内球技場
世田谷区駒沢公園1-1 TEL03-3421-6199
最寄り駅からのアクセス
【徒歩でお越しの方】
東急田園都市線「駒沢大学駅」下車、「公園口」の出口を出て、自由通りを南へ直進、「駒沢公園東口」から入場する場合、屋内球技場、約25分。
【バスでお越しの方】 東急田園都市線「駒沢大学駅」下車、「公園口」の出口を出て、「駒沢大学駅前」バス停（マルエツ前）より、東急バス（渋11系統「田園調布駅行き」）で約4分、「駒沢公園東口」または「東京医療センター前」下車。
3. 主 催： NPO法人東京都武術太極拳連盟
4. 主 管： 世田谷区太極拳連盟
5. 後 援： 公益社団法人日本武術太極拳連盟・東京都
6. 出場選手： 東京都に在住する東京都武術太極拳連盟加盟団体の所属会員および非加盟団体の会員
7. 実施種目： 4コートで下記の種目を実施する。

《1》 実施種目；

1) 「第33回全国健康福祉祭・ねんりんピック岐阜2021」都代表選抜；

2020年の代表チームを東京都代表とするため、今大会では実施しない。

2) 集団競技；

- 一都連盟加盟団体または非加盟団体は1チームに限って出場させることができる。
- 一最高得点チーム、1チームを都代表チームに選抜し、次点チームを補欠チームとする予定。尚、選抜数は状況に応じて変更の可能性あり。

3) 「第38回全日本選手権大会」太極拳個人種目；

一下記(1)~(3)の3種目、男女の第1位各1名、男女計6名を、都代表に選抜する。各種目の次点選手を補欠選手とする。

- (1) 24式太極拳A = 満60歳以上、 演技時間4分以上6分未満
- (2) 24式太極拳B = 満40歳以上59歳以下、 演技時間4分以上6分未満
- (3) 24式太極拳C = 満39歳以下、 演技時間4分以上6分未満

一下記の(4)~(13)の10種目、男女計20種目を実施し、そのうち(4)~(11)の8種目各種目の上位2名、男女計32名を都代表選手に選抜する。(12)(13)の種目についての代表選抜は行なわない。

- (4) 総合太極拳A B (満30歳以上)、 演技時間5分以上6分未満
- (5) 同 C (満29歳以下)、 同上
- (6) 太極剣・刀(32式、42式太極剣を含むすべての太極剣・刀)、 演技時間2分以上4分未満
- (7) 48式太極拳、・88式太極拳、 演技時間3分以上4分未満

- (8) 楊式太極拳、 同 上
 - (9) 陳式太極拳、 同 上
 - (10) 吳式太極拳、 同 上
 - (11) 孫式太極拳 同 上
- 尚、今大会ではジュニア太極拳1、ジュニア太極拳2の競技は実施しない。

4) 「全日本選手権大会」団体競技種目の競技；

下記の団体競技種目計3種目を実施し、対練は上位3チーム、集団及び太極拳推手規定套路は上位1チームを都代表チームに選抜する。

- (1) 対練＝2人または3人で、徒手または器械で格闘形式の演技。演技時間40秒以上2分未満。
- (2) 集団＝4人以上10人までで、徒手または器械の集団演技。演技時間1分以上4分未満。
- (3) 太極拳推手規定套路＝2人1組でアジア武術連盟制定の推手規定套路を全套路演技。演技時間4分以上6分未満。

5) 70歳以上特別競技；

今大会では実施しない。

6) 日本連盟シード選手の取り扱い；

- ① 第38回全日本選手権大会については、2019年第37回大会によるシード権を有効とする。従来は年齢区分が変更となった場合は失効となるが、シード選手は各都道府県連盟の有望な選手であることを鑑み、今回に限り許可される。
- ② 第36回全日本選手権大会の太極拳個人種目の成績により「第37回大会シード選手」の指定を受けた選手は、本大会において当該シード種目にエントリーすることはできない。
- ③ 上記の選手は、本大会において当該シード種目以外の太極拳個人種目にエントリーすることができる。本大会で当該シード種目以外の種目の成績が、都代表に該当することになった場合は、本大会の表彰式までに、元のシード権を放棄して本大会の参加種目の都代表となるか、あるいは元のシード種目を選択して本大会の都代表権を放棄するかのいずれかを本大会表彰式までに表明しなければならない。

7) 国民体育大会・東京都代表選手選抜の競技について；

2020年鹿児島大会代表選手を2021年三重国体代表選手とするため本大会では実施しない。

《2》 出場規定；

- 1) 年齢規定；上記の1)、3)及び5)で、年齢規定のある種目はすべて、2021年4月1日現在の満年齢に基づくものとする。年齢規定に適合しない選手の出場申込書は受理されない。

2) 在住地規定；

- ① 《①》－2)「第38回全日本選手権大会」太極拳個人種目の出場選手は、住民票に記載されている現住所が東京都内にあり、2021年4月1日まで引き続き東京都内に居住する予定の者でなければならない。代表選抜が決定した後、2021年4月1日までの間に東京都外に移転することになった場合は、全日本選手権大会運営委員会宛に「移転証明書」を提出しなければならない。

- ② 虚偽の現住所申告による出場に対する制裁；上記①②の規定にもかかわらず、偽りの現住所を申告して本大会に出場した場合は、その選手の所属団体および選手本人に対して、制裁金を課し、以後の大会の出場停止等の制裁措置をとるものとする。

③ 「第38回全日本選手権大会」団体競技種目；

「対練」(2~3人)、「集団」(4~10人)、「推手規定套路」(2人)の各種目は、各チームの構成選手のうち少なくとも1人以上が、上記の個人種目①に定める在住地規定に基づいて東京都内に現住所を有する者でなければならない。日本連盟の全日本選手権大会開催要綱の「集団競技種目の出場選手変更規定」に基づいて出場選手の変更を行った場合も、残る選手のうち少なくとも1人以上が東京都内に現住所を有するものでなければならない。

3) 出場種目数の制限；

- － 「第38回全日本選手権大会」太極拳個人種目は、選手一人1種目以内を限度として出場することができる。

－ 本大会で「第38回全日本選手権大会」太極拳個人種目の代表となった選手は伝統競技部門にエントリーすることができない。そのため、伝統競技部門に出場を希望する選手は本大会申込時に

あらかじめ申込書に記入の上エントリーし、代表選手に選抜された場合には、本大会の表彰式までに、伝統競技部門を放棄して本大会の参加種目の都代表となるか、あるいは元の伝統競技部門を選択して本大会の都代表権を放棄するかのいずれかを本大会表彰式までに表明しなければならない。

－本大会で「第38回全日本選手権大会」太極拳個人種目の代表となった選手は規定難度太極拳競技にも重複してエントリーすることができない。そのため、規定難度太極拳競技部門に出場を希望する選手は本大会申込時にあらかじめ申込書に記入の上エントリーし、代表選手に選抜された場合には、本大会の表彰式までに、規定難度太極拳競技部門を放棄して本大会の参加種目の都代表となるか、あるいは元の規定難度太極拳競技部門を選択して本大会の都代表権を放棄するかのいずれかを本大会表彰式までに表明しなければならない。

－「第38回全日本選手権大会」団体競技種目は、参加団体1団体について；

①対練3チーム以内、②集団3チーム以内、③推手規定套路3チーム以内、を限度として出場することができるものとする。

－団体競技については、一人の選手は「集団」と「推手規定套路」及び「対練」のうち、いずれか1種目に限って出場することができる。従来の「対練」出場選手が別途、他の団体競技種目に出場できる規定は廃止されているので注意すること。

－一人の選手は「集団」の複数チームに重複して出場することは出来ない。

4) 表 彰：

－各種目は申込人数に応じて次の通り入賞者を定める。

申込人数(申込チーム数)	5名(5チーム)以下=1名(1チーム)入賞、
	6名(6チーム)以上=3名(3チーム)入賞、
	21名(21チーム)以上=5名(5チーム)入賞、
	31名(31チーム)以上=6名(6チーム)入賞、
	41名(41チーム)以上=7名(7チーム)入賞、
	51名(51チーム)以上=8名(8チーム)入賞、
	76名(76チーム)以上=10名(10チーム)入賞

《3》 審判委員会と審判員；

－競技は、審判委員会の管理のもとで実施する。同委員会は総審判長1名と東京都連盟役員からなる監査委員で構成する。

－各審判員は、日本連盟公認審判員のなかから審判委員会が委嘱する。

《4》 競技ルール；

－2021年開催の第38回全日本武術太極拳選手権大会にて採用される競技ルールに基づいて実施する。詳細は決定次第連絡する。

《5》 服装規定；

－全日本選手権大会種目に出場する選手の服装は、第36回全日本選手権の服装規定に準じ、原則として自由とする。ただし武術太極拳競技にふさわしい服装とする。

《6》 ゼッケンの使用について；

大会個人種目に出場する選手はゼッケンをつけて出場するものとする。ゼッケンは選手一名につき一枚で、事前に加盟団体に送付するので、加盟団体は事前にゼッケンを選手に配布する。選手は表演服の所定の位置にゼッケンを付けたうえで、大会当日、大会進行係にゼッケンを示して出場のチェックを受けること。ゼッケンのない選手の出場は認められない。

第18回大会より予備エントリー制度は廃止されている。参加申し込み後の種目変更は認められないので、各団体及び参加者は、申し込み時に十分な確認を行った後、申込書を提出するよう、徹底すること。

付表：第28回都選手権大会 出場料等一覧

		都連盟加盟団体	都連盟非加盟団体	個人出場
出 場 料	個人種目(1人)※	4千5百円	8千5百円	2万5百円
	集 団 (1チーム)	8千円	1万6千円	無し
	対 練 (1チーム)	5千円	1万円	無し
	推 手 (1チーム)	5千円	1万円	無し

以 上